

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	GA 油性切削油
会社名	株式会社三共コーポレーション グリーンエース事業部
住所	〒639-2127 奈良県葛城市新町258
電話番号	0745-62-1317 FAX 0745-62-1327

2. 危険有害性の要約

特有の危険有害性

この商品は記載の法令に該当するので、該当する法令の内容を確認し取り扱うこと。

危険物（消防法 第4類第3石油類）

GHS分類
物理化学的危険性

可燃性ガス	区分に該当しない(分類対象外)
エアゾール	区分に該当しない(分類対象外)
酸化性ガス	区分に該当しない(分類対象外)
高压ガス	区分に該当しない(分類対象外)
引火性液体	区分に該当しない(分類対象外)
可燃性固体	区分に該当しない(分類対象外)
自己反応性化学品	区分に該当しない(分類対象外)
自然発火性液体	区分に該当しない(分類対象外)
自然発火性固体	区分に該当しない(分類対象外)
自己発熱性化学品	区分に該当しない(分類対象外)
水反応可燃性化学品	区分に該当しない(分類対象外)
酸化性液体	区分に該当しない(分類対象外)
酸化性固体	区分に該当しない(分類対象外)
有機過氧化物	区分に該当しない(分類対象外)
金属腐食性物質	区分に該当しない(分類対象外)
鈍性化爆発物	区分に該当しない(分類対象外)

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(経皮)	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(気体)	分類できない
急性毒性(蒸気)	分類できない
急性毒性(粉塵及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分に該当しない(分類対象外)
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分に該当しない(分類対象外)
呼吸器感作性	区分に該当しない(分類対象外)
皮膚感作性	区分に該当しない(分類対象外)
生殖細胞変異原性	区分に該当しない(分類対象外)
発がん性	区分に該当しない(分類対象外)
生殖毒性	区分に該当しない(分類対象外)
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分に該当しない(分類対象外)
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分に該当しない(分類対象外)
誤えん有害性	区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない(分類対象外)
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない(分類対象外)
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ
注意書き [安全対策]	全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 眼に入れないこと。飲み込まないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 飲み込んだ場合すぐに医師の手当てを受けること。 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
[応急措置]	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
[保管]	直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
[廃棄]	内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び一成分情報

化学名又は一般名	含有量	CAS No.
鉱物油	90%～98%	メーカー非開示
植物油	2%～4%	メーカー非開示
塩化パラフィン	1%～3%	85535－85－9

労安法 通知・表示対象物

通知対象物質

:No.168 鉱油90%～98%

表示対象物質

:No.168 鉱油90%～98%

PRTR法 ※

:非該当

※ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 体を毛布等でおおい、保温して安静を保ち、直ちに医師の診断・手当てを受けること。 呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣服を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹼水で洗う。 汚染された衣服を再使用する場合には洗濯する。 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。
目に入った場合：清浄な水で数分注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も最低15分間洗浄を続け、その後医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合：水で口の中を洗い、無理に吐かせずに、直ちに医師の措置を受ける。
急性及び遅延性のもっとも重要な症状 誤飲した場合、胃の粘膜を強く刺激し吐くことがある。 嘔吐中に飲み込んだ本品が肺に吸入されると、科学性肺炎を起こし、致命的となることがある。

5. 火災時の措置

消火剤：初期火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤：消火に棒状水を用いてはならない。
特定の消火方法：周囲の設備などに散水して冷却する。 火元への燃焼源を絶つ。 火災発生場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁じ、安全な場所に退去させる。

消火を行うものの保護：消火作業の際には、風上から行い必ず保護具を着用する。
皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際は、保護具を着用する。
こぼれた場所は滑りやすいため注意する。
漏出した場所の周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。

封じ込め及び

浄化方法と機材：漏出源を遮断し、漏れを止める。
少量の場合はヘラ、スコップ等で除くか、吸着剤(土砂,ウエス等)で吸着させて空容器に回収し,その後を完全にウエス等で拭き取る
大量の場合は漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
作業の際には必ず保護具を着用する。
漏洩した液は土砂などでその流れを止め,安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収する。河川,下水道等に排出されないように注意する。
会場の場合には、オイルフェンスを展開し拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。その際オイルフェンスは危険防止のため蒸気の及ばない範囲で展開する。
薬剤を用いる場合は、国土交通省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

二次災害の防止策：漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

局所排気、全体換気：排気、換気設備を設け、取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な技術対策：指定数量以上の量を取り扱う場合には、火災予防条例準則、市町村条例で定められた基準に従うこと。
皮膚に触れたり、目に入るような場合は保護具を着用する。
静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。
火花、炎、高温体等との接触を避ける。製品より発生する蒸気は空気より重く滞留しやすいので、みだりに蒸気を発生させないとともに、換気を十分に行うこと。

安全取り扱い予防措置：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
接触、吸入または飲み込まないこと。取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいすること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

適切な保管条件：直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との同一場所での保管を避ける。
熱、スパーク、火炎並びに静電気の蓄積を避ける。
保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。
ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。

安全な包装材料：適した材質:「危険物の規制に関する規則別表第3の2」に該当する容器を使用する。
容器は、「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示第68条の5」に定める容器試験基準に適合していることを自主的に確認すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備的防止対策 ミストが発生する場合は発生源の密閉化、又は排気装置を設ける。
取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度 設定されていない(作業環境評価基準:労働省告示第26号)
許容濃度 日本産業衛生学会 鉛油ミスト3mg/m³
ACGIH 鉛油ミスト5mg/m³ (TLV-TWA)

保護具 適切な保護具を着用すること。
呼吸器の保護具 呼吸用保護具等
手の保護具 耐油性保護手袋等
眼の保護具 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 保護服

衛生対策 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:液体
色	:褐色
臭い	:微石油臭
pH	:適用できない
滴点	:データ無し
凝固点	:データ無し
沸点	:データ無し
引火点	: $\geq 130^{\circ}\text{C}$ (C.O.C)
自然発火点	:データ無し
分解温度	:データ無し
可燃性	:データ無し
蒸気圧	:データ無し
相対密度	:データ無し
密度	: $0.87\sim 0.90\text{g}/\text{cm}^3$ (15°C)
溶解性	:水に不溶
爆発範囲	:データ無し
動粘度 (100°C)	:約 $17\text{mm}^2/\text{S}$

10. 安定性及び反応性

反応性: 特筆すべき反応性無し。
化学的安定性: 通常の取り扱い条件において安定。冬季(低温時)には沈殿物や濁りが生じる。
危険有害反応可能性: 酸化剤、強酸類との接触を避ける。
避けるべき条件: 100°C 以上に強熱しない。混触危険物質との接触。
避けるべき材料: 強酸類、ハロゲン類、アルカリ類、酸化性物質
危険有害な分類生成物: 燃焼の際、一酸化炭素、二酸化炭素、煙、亜硫酸ガス等の生成が予想される。
その他: 可燃性あり。自然発火性なし。水との反応性なし。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラット LD50 $>5000\text{ mg/kg}$ (推定)
皮膚	ラット LD50 $>5000\text{ mg/kg}$ (推定)
吸入(蒸気)	データなし
吸入(ミスト)	ラット LD50(4H) $>5\text{mg/L}$ (推定)
皮膚腐食/刺激	区分に該当しない。ただし長時間又は繰り返し接触することで脱脂により炎症する可能性があるので注意すること。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分に該当しない。
呼吸器感作性	区分に該当しない。
皮膚感作性	区分に該当しない。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。
発がん性	IRACでは高度精製油はグループ3(人に対する発がん性について分類できない)に分類され、ACGIHの提案もほぼ同様の分類と言える。 EUによる評価では、発がん性物質としての分類は適用される必要はない。
生殖毒性	区分に該当しない。
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分に該当しない。
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分に該当しない。
誤えん有害性	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ。

12. 環境影響情報

生態毒性	
急性毒性	混合物の分類に基づき、区分に該当しない。
慢性毒性	混合物の分類に基づき、区分に該当しない。
残留性・分解性	基油について、生分解試験結果は31%(28日間)であることから、本質的生分解性を有するが、易生分解性ではないと判断する。
生体蓄積系	現在のところ有用な情報なし。
土壤中の移動性	現在のところ有用な情報なし。
オゾン層有害性	分類できない。
他の有害影響	情報なし。

13. 廃棄場上の注意

残余廃棄物	排気においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器および包装	容器は正常にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空き容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。 塩素を含む廃油として処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連分類：非該当 国連番号：国連の分類基準に該当せず 品名：非該当 容器等級：非該当
国内規制	陸上輸送の場合 消防法：危険物 容器 危険物の規制に関する規則に従う。 表示 危険物の品目 第三石油類、危険等級Ⅲ、数量、火気厳禁
海上輸送及び航空輸送の場合	船舶安全法：非危険物(個別輸送およびバラ積み輸送において) 航空法：非危険物
輸送の特定の安全対策及び条件	容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬すること。 第一類及び第六類の危険物及び高圧ガスとを混載しないこと。

15. 適用法令

消防法	危険物 第4類第3石油類 非水溶性液体(2000L) 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	表示、通知対象物質
化学物質排出把握管理促進法 PRTR法	非該当
化審法	優先評価化学物質 第218号モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14 17、直鎖型)
船舶安全法	非該当
海洋汚染防止法	第15号 塩化パラフィン 第16号 塩化パラフィン
下水道法	鉱油類排出規制
水質汚染防止法	油分排出規制
輸出貿易管理令	別表第1、16項(キャッチオール規制)： 該当 HSコード：2710.19

16. その他の情報

引用文献・参考文献

- 各原料SDS
- JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
- GHS混合物分類判定システム

<お願い>	安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。 取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で、使用されるようお願い致します。 従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
-------	---